

知られざる琉球文化の殿堂

「御茶屋御殿」を語る！

～文化財指定と早期復元を～

入場
無料

(200名限定)

日時:平成27年5月23日(土)

15:00~17:30(受付14:30)

場所:沖縄県立博物館・美術館 講堂

第1部 基調講演

「御茶屋御殿とはーその歴史的役割ー」

講師 田名 真之 沖縄国際大学教授(琉球史)



第2部 パネルディスカッション

コーディネーター

パネリスト



亀島 靖

劇作家、プロデューサー



秋野 公造

参議院議員



田名 真之

沖縄国際大学教授(琉球史)



平良 啓

(株)国建 常務取締役、
博士(芸術工学)



宮里 朝光

御茶屋御殿復元期成会会長

主催:御茶屋御殿復元期成会

後援:那覇市、沖縄県文化振興会、那覇市文化協会、沖縄県芸能関連協議会、沖縄伝統空手道振興会、沖縄タイムス社
琉球新報社、NHK 沖縄放送局、沖縄テレビ放送、ラジオ沖縄、琉球朝日放送、琉球放送(順不同)

知られざる琉球文化の殿堂「御茶屋御殿」を語る！ ～文化財指定と早期復元を～

～趣旨～

御茶屋御殿は、1677年に創建され、中国名を「東苑」と称し、冊封使や在番奉行を歓待した琉球の迎賓館であり、首里城と一体となって外交が行われました。

また、御茶屋御殿は、宮廷文化を担う人々の芸能を鍛え、その道の第一人者の技を発表させ、文化を奨励するところであり、国王が独占することなく、一般庶民にも広く公開した文化の殿堂でありました。

御茶屋御殿は、旧国宝指定の候補にも挙げられましたが、先の大戦で焼失・破壊されました。

御茶屋御殿復元期成会においては、このような歴史的・文化的価値の高い御茶屋御殿を文化財指定と早期復元を国・県・市の関係機関に再三要請をしてまいりました。現在、内閣府総合事務局・沖縄県・那覇市の三者による「御茶屋御殿ワーキンググループ」が設立され、課題解決に向けて取り組んでおられます。

特に今年は、戦後70年の節目に当たり、御茶屋御殿復元期成会においては、

- ①御茶屋御殿の歴史的・文化的価値の再認識
- ②御茶屋御殿の文化財指定と早期復元を
- ③御茶屋御殿の教育的・文化的・経済的活用の在り方

の趣旨で、県民の皆様と更なる認識共有の拡大を図り、御茶屋御殿の文化財指定と早期復元の機運を高めるためシンポジウムを開催します。

- ◎今回のシンポジウムは、事前申し込みは必要ありません。
- ◎講堂は200席で入場無料です。
- ◎ご来場の際は、駐車場に限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願いします。ご参加をお待ちしております。